



おおわだしようがっこう 大和田小学校だより

令和7(2025)年
12月5日(12月号)
門真市立大和田小学校
校長 成尾 尚子

2学期もあと1ヶ月

長い2学期のゴールが見えてきました。これまでに学んだことを振り返る時期です。目標を持って取り組めたでしょうか。

学習をすすめていく中で、自分を知ることも大切であると同時に、友だちや仲間、周りの人との関りを通して「相手を知る」ということができたでしょうか。

12月8日(月)から個人懇談が始まります。頑張っていること、もう少し頑張ってほしいことなどをお伝えする機会となります。短い時間ですが、どうぞよろしくお願ひいたします。



めざす子ども像

1. 自分も仲間も大切にする子ども
2. 学ぶ意欲のある子ども
3. 自分で考え、行動できる子ども

6年生 修学旅行(社会科、総合的な学習)

11月4日(火)5日(水)の2日間、広島・宮島へ修学旅行に行きました。1日目は平和記念資料館見学、ボランティアの方による碑めぐり、被爆体験者講話、2日目は宮島水族館や商店街でのお買い物などで楽しみました。帰って来てからも、6年生は平和について考えを深めています。当日までの荷物の準備、早朝の見送り、暗い中、帰りのお迎えなど、ご協力ありがとうございました。



学校教育診断アンケートについて

12月1日(月)~12月16日(火)の期間にスマートフォンやパソコンを使って「Logo フォーム」による回答をお願いします。詳しくは12月2日(月)に配付の手紙をご覧ください。

1年生 おいもパーティー(生活科)

老人会の方々と一緒においもほりをした後、「おいもパーティー」をしました。老人会の方々を招待して、炊飯器で作ったおいもケーキと一緒に食べました。お礼の手紙も渡し、みなさん、とても喜んでいただき、楽しい時間をすごすことができました。



2年生 お店たんけん(生活科)

コーナン、業務スーパー、中野農園、エイコー食品の4ヶ所に分かれて、お店たんけんをしました。働いている人に質問をしたり、仕事をしているところを見せてもらったりと、学校の外での学習もがんばっています。付き添っていただいた保護者の皆様、大変お世話になりました。



3年生 市内めぐり(社会科)

門真市の歴史について学習しています。「わたしたちのまち かどま」に載っている「茨田の堤(まんだのつつみ)」や「段蔵(だんぐら)」など、歩いて行って、直接見てきました。「薰蓋樟(くんがいしよう)」を見て、「おおきい!」と驚いていました。みんな頑張って歩いていました。



2・3年生 合同遠足(万博記念公園)



1年生がインフルエンザによる学級閉鎖になったため、2学年での実施となりました。京阪電車とモノレールを乗り継いでいきました。3年生が2年生のことを気にかけながら行動していたり、2年生は3年生を頼りながらも一緒に楽しんでいたり、それぞれの頑張りや成長があった遠足でした。

4年生 ゲストティーチャーから学ぶ(総合的な学習・人権教育)

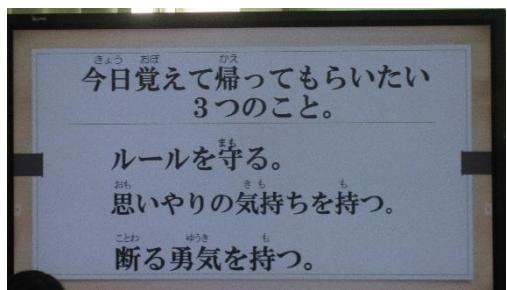
総合的な学習の時間に「自分らしい生き方・働き方を考えよう」に取り組んでいます。男性の看護師さんに来ていただき話を聞き、家の人の仕事について、性別に関係なく自分らしく生きることについて、自分で考えたり、友だちと話し合ったりしています。

4年生 門真市エコ・アートコンクール

「第10回門真市エコ・アートコンクール」で、「五十川琉珂」さんが
「市長賞」を受賞しました。おめでとうございます。受賞者や門真市の
4年生みんなの作品は、門真市のリサイクルプラザに掲示されます。



門真市HPより ← こちらをクリック



5年生 非行防止教室

今年も少年サポートセンターの方に来ていただきました。

非行行為「万引き」についての話でした。やってはいけないと

分かっていることではありますが、なぜ、いけないのか、という話

になると「家の人人が悲しむ」「自分もやってしまったことを後悔する」といったことに加え、「ルールを守らないことは悪いこと」「お店のことや家の人のことも考える」「見張り役を誘われても断る」という話ををしていただきました。なぜ、だめなのか、改めて考える時間になりました。

6年生 「いじめ」について考えよう～弁護士による出前授業～

大阪弁護士会の松本弁護士に来ていただき、「『いじめ』について考え方」という内容でお話をしていただきました。弁護士は「人権」を守る仕事であり、「人権」が守られているとはどんなことか、について考えた後、みんなが「いじめ」だと思うことはどんなことか、ロールプレイをしながら「これはいじめかどうか」考える場面もありました。そして、いじめは法律で禁止されていること、いじめは「された方がつらいと感じるようなすること」を確認しました。さらに、SNSで気をつけることにも触れ、また、自分がいじめられている時にだれの行動に傷ついているか、という場面では、いじめられている人から見て、「はやし立てる人」や「見ているだけの人」に傷つく、と答える人が多くいました。これも「いじめ」に加担しているといえます。最後の「いじめられている人にどんなことができるか」という問いかけには「大丈夫?と声をかける」という答えも聞かれました。「いじめ」はなぜだめなのか、それは「その人の人権(幸せ)を奪ってしまうから」という言葉で締めくくられました。自分の行動を振り返り、一人ひとりを大切にすることについて考えを深め、行動できる人になってほしいです。

※この出前授業で使ったワークシートを保護者の皆さんにもご覧いただけるように、学校だよりと一緒に配信します。
(松本弁護士から許可を得て配信しています)